

『 輸液の血管外漏出による皮膚の傷害をご存知でしょうか？ 』

投与した点滴が血管外に漏れ、女性が右足を切断するという医療ミスが報道されました。点滴施行中の患者の観察（全身状態や刺入部位など）は看護師の重要な役割です。

1. 末梢静脈から点滴する輸液（水分、電解質、栄養素補給目的）であっても、血管外に漏出した後に適切な処置が行われないと、重大な皮膚傷害（皮膚壊死、皮膚潰瘍）を発症することがあります。
2. 予防には、まず漏出のリスク要因をよく認識していただくことが重要です。
3. 下記の項目に該当するものがありましたら、血管外漏出のリスクが高いと考えられますので、十分に注意しましょう。
4. 漏出が疑われるときは自己判断をせず、医師に報告し適切な処置を講じましょう。



Check Sheet

- 針刺し部位が足背又は手背の静脈である
- 高齢者や乳児、意識障害がある
- 片麻痺や頸椎損傷がある
- 咳や嘔吐などをしている
- 就寝時も点滴している
- 輸液ポンプを使用している
- 他剤（抗癌剤、抗生物質、抗痙攣剤など）を混注している



宮地良樹監修；輸液による血管外漏出皮膚傷害 予防のための輸液管理
<http://www.otsuka.co.jp/prod1/kojo/yueki/roshutu/p1.htm> より抜粋